

実は……

みんなのお父さん



社長プロフィール

竹下 芳 (たけした・かおる 通称:カール)

株式会社フロムエーワークの代表取締役社長。大学中退後すぐに現在の会社に入社。先代のリクルート出身の社長の下で働き、15年後に先代から現職を引き継いだ。会社の主な事業内容は、求人や販促等の総合広告代理店として、中野・杉並エリアでの営業。家族構成は、奥さん、嫁のような娘さん2人、息子さん、そして猫(♀)の5人と1匹家族。趣味のゴルフは、月に1回以上やっているそう。

アイドルもアンテナに…?

「できる男」オーラ全開のカールさん。何事もそつなくこなすが、一方で壁があるように感じさせる雰囲気を持っているのが、最初の印象だ。

そんなカールさんの職歴は、大学中退後に現在の会社でバリバリ働き、その後代表取締役に就任。景気の流れが速い仕事だという。そんな会社での働きぶりを聞くと、カールさんは変化を好み、「自己」成長に励む熱い男であることが伺える。会社の主な事業内容は、求人や販促等の総合広告代理店として中野・杉並エリアでの営業。時には、就職活動に苦戦している学生と、新卒を求めている企業との接点を作り出している。カールさんは、人と人を繋げるため、地域の活性化のため、毎日一生懸命なのである。

みつちやく1日目、カールさんの職場でお話をしている最中にアイドルの話題が出ると、ある社員さんを紹介してくださった。「この社員は元アイドルだったんだよ」とカールさん。なんと、社員の過去のことまで知っていたのだ。また、1人の社員が営業に出かけようとする

と、他の社員全員が「いってらっしゃい」と暖かく見送る社風。これは、カールさんの想いが浸透した結果だろう。

また、カールさんの喜びは、「お客さんのことを深く知ることができたとき」だという。この言葉から、ビジネスとしてだけでなく、人としても向き合おうとしているように感じられる。これらを踏まえて、カールさんは1人で仕事に熱を上げるタイプなのではなく、仲間のこと、更にはお客さんのことまでも心から大切にしようとする方だということに見受けられた。



カールさんの〇〇な姿に感動

みつちやく1日目、川島商店街のお祭りに同行させて頂いている最中に、カールさんは中野法人会が主催している税金クイズのお手伝いに加わった。これは、

お祭りに来ている子どもたちに、クイズを通して税金について知ってもらうための取り組みである。長い行列が出来ているにも関わらず、カールさんは子どもと

同じ目線で対話する姿勢を崩さない。子どもが分からなさそうにしているときも、社長であることを忘れさせるかのように、一生懸命子どもと向き合っていたのだ。子どもに優しく税金について教える



カールさんに、私たちは感動。みつちやく2日目では、カールさんは私たちを連れてホテルのビュッフェや、アロマキャンドル作り体験へ。これらはあたかも、私たちを娘のように色々なことを経験させてあげたい、という想いがあるかのように感じられる。

また、このとき紹介して頂いたセブンイレブンのオーナーをされている横田さんと、アロマキャンドル作りのお店で独立されている梅田さんは、元々はカールさんの部下。カールさんはその方々が独立してからもお交流を続け、彼らの仕事を応援しているのだ。

自己流の達人

ゴルフが趣味のカールさん。そんなカールさん、事務局の松尾さん曰くとてもゴルフが上手だそう。しかもそれは、習ったのではなく独学らしい。プロパーで働いていたときの話や現職での志からも、カールさんは理想を追求して努力する人であることが伺える。また、松尾さんに丁寧にゴルフを教えていたこともあるという。会社・みつちやく・趣味、どこに行ってもカールさんは「育てる人」「みんなのお父さん」なのである。そんなカールさん、一見すると「理想の父」であり、ときにそれが「絡みづらい」と思わせるかもしれない。

しかし、スナックでは松田聖子さんの歌を歌ったり、理想追求型だからこそ裏で「みつちやくってこんな感



そんな有意義な時間を過ごした後は、居酒屋へ。いつもカールさんが一緒に飲んでいるという、飲み友との飲み会に同席させてもらった。気心知れた友人たちとお酒を楽しむカールさんは、これまで私たちの前で見てきた姿と同じようで、どこか違った。でも、私たちにとってはそんなカールさんの姿もやっぱりお父さんのようであり、「今度実家に帰った時には、お父さんとお酒でも飲もうかな」と、思わせてくれた瞬間でもあった。これらの姿は……、そう、まさしく、みんなの「お父さん」。



じでいいのかな…」と気にし過ぎたりと、可愛らしい一面も。「お父さん」と言うと、「一家の大黒柱・受け入れる人・支える人」というイメージと、「でもどこか理解できない部分のある人」というイメージを持ち合わせている。カールさんも理想追求型であり、育てる人であり、第一印象は「近づきたい人」であったり……。しかし、今回2日間のみつちやくでたまに垣間見せる素顔もあり、「噛めば噛むほどお父さん」だった。いや、「理想の親父」だったと言ってもよいかもしれない。カールさん、これからも、みんなのお父さんでいてください。



<取材:青木万里奈(通称:まりな-ず・早稲田大学)、山田絵里加(通称:やまちゃん・明治大学)>

優しくないけど、「本当に」優しい。



社長プロフィール

梅若 幸子 (通称: ゆっきー)

中野区在住。Umewaka International 株式会社代表取締役。歴史ある能楽観世流シテ方梅若家に生まれる。大学卒業後、電通に入社するが、結婚を期にやめる。その後、能の新しい可能性を探るべく、様々なものと能のコラボレーションをプロデュースしている。また、特定非営利活動法人日本伝統文化交流協会を立ち上げ、伝統文化の保存・普及に努めている。

「プロ」と「素」のバランス

ゆっきーさんは、能の新たな魅力や可能性を引き出すべく、様々なプロジェクトを企画・実行している。その中で今回見せてもらったのは、ジブリと能のコラボだ。ジブリの楽曲を多く手がける久石譲さんの娘である歌手・麻衣さんの歌に合わせて、能楽師が舞を舞うというものである。「麻衣と舞」というタイトルは一見ダジャレで決まったように見えるが、能に合う声やテンポはなかなかないらしく、“麻衣さんの声”だからこそできる雰囲気を生かし、お互いに、これは！と思うまで、いろいろ試行錯誤をした結果、やっとコラボが実現したという話であった。

ゆっきーさんの仕事のやり方を見せてもらうと、さすがは元電通社員といったような「プロ」の部分がまず目に付く。適切なアドバイスを適切なタイミングで出し、その様子はまさに冷静沉着。決して目立つわけではないが、周りの人がゆっきーさんを頼りにしているのがよく分かる。

しかし、それだけじゃないのがゆっきーさんのすごいところ。休憩時間に仕事のパー



トナーの恋愛相談に乗ったり、ご飯会をしたりと、至って「素」の部分でも相手との信頼関係を築いている。「人との出会いで仕事生まれるから、そこは本当に楽しい！」ビジネス的な冷静さだけでなく、馴れ合い

だけでもなく。そのバランスと、相手としっかり向き合って信頼を築くことがいい仕事をする秘訣なのかもしれない。



“ごはん”で垣間見える素顔

ゆっきーさん(と私たち)はおいしいものを食べるのが大好き！ということで、みつちやく中3回も食事を一緒にさせてもらった。基本的に、「みつちやくでは私は動物園のパンダのようなものだから勝手に見てちょうだい」というスタンスのゆっきーさんだったが、友達のようにご飯に誘ってくれ、ご家族から仕事仲間まで様々な人に会わせてくれた。

特にご家族との食事では、ゆっきーさんのおばあさんとお母さんの暴露話にゆっきーさんが圧倒されてい



たり、息子さんに手を焼かされていたりと、家庭での一面も見る事ができた。

また、食事の帰りに、ポロっと面白い話が聞けた。綾野剛の演技思考と能楽の考え方の類似性と相違点を話したらうけそうだと思って今考え中という話だ。そこで興味深いのが、直感的に綾野剛に目を付けたら、写真集から映画、バラエティまですべて見て研究したという仕事に対する情熱である。「綾野剛がなんであんなに人気なのかは、あの目の色気だと分かったの！」しかし綾野剛のファンにはならないあたりがまたゆっきーさんらしい。



「本当の」優しさとは？

初めてゆっきーさんと会ったとき、少し近寄りがたいような印象を受けた。あまり受け入れられてないのかな？とも思った。しかし、みつちやくをすればするほど、「ゆっきーさんは優しい人だ」と感じるようになっていった。でも、そのきっかけになった特別なエピソードがあるわけではない。

にもかかわらず「優しい人だ」と感じるようになったのはいい意味で「学生だから」とかまわれることがなかったからだと思う。相手を「学生だから」「仕事相手だから」といったようにカテゴリーに分けて、あたりさわりなく接するのではなく、一人の人としてそ

れぞれの人と対等に接しているから、その「対等さ」が「優しさ」と感じられたのかもしれない。

対等に接してくださったのはゆっきーさんの周りの人も同じで、ご家族やお友達も、私たちがいきなり登場しても、何も特別なことはなく「普通に」私たちが輪に入れてくれた。

これからもその信頼関係からたくさん面白い仕事が生み出されるのではないかと楽しみであるし、なにより、私たち自身もそういった仕事の仕方がしたいと強く思った。



<取材: 田崎理紗 (通称: せつちゃん・明治大学)、遠藤祐貴 (通称: えんゆう・早稲田大学) >